



担い手通信



JA bank Mie

Topic

今月の話題

播種向け麦の黒節病対策 種子消毒を徹底

遅まき、雨よけ組み合わせ 農研機構

農 研機構・中央農業研究センターは、麦の難防除病害、黒節病の防除対策をまとめました。種子伝染性の同病害。種子生産地向けの技術として、種子消毒に遅まき、雨よけ栽培などを合わせた総合的防除体系を組み立てました。「健全な種子を作っていれば、甚大な被害はあり得ない」と、種子産地での技術利用を促します。

黒節病は麦の節の部分がかげ色になり、節の上が枯れていきます。病原菌は気温22〜24度で活発になるため、暖冬年で一時的に寒波や降雨を受けて麦がダメージを受けると、発生しやすくなります。「全国で10億円くらいの被害があるのではないか」



黒節病の発生抑制効果を試すため、圃場に設置した簡易雨よけ栽培施設（中央農研センター提供）

と農研機構・中央農業研究センターではみています。

種子伝染性のため、きれいな種子を使うことが重要です。対策は種子消毒を重視し、使える薬剤を紹介しています。

昨年に金属銀を主成分とするシードラック水和剤が種子消毒用に登録されました。Zボルドーも種子消毒に使えます。同病害以外の種子伝染性病害にも有効なため、冷水温湯浸法を組み合わせて「抑制効果が高くなる」と種子消毒の徹底

を勧めています。

播種（はしめ）時期の試験では、年によって差はありますが、遅まきで、黒節病の発生を「減少させることができ」といいます。小麦の試験では、12月上旬の播種で減収はほとんどありませんでした。

対策では、強い雨や風が麦に当たらないように、採種圃場（ほじょう）で簡易雨よけや、風よけ栽培で発病が抑えられることも紹介しています。1月中旬に施設を設置したところ、何もない圃場は発病率が14・7%でしたが、風よけ栽培は7・6%、簡易雨よけ栽培は0・3%まで下がりました。農研機構・中央農業研究センターは、種子消毒や遅まき、雨よけ栽培を組み合わせた総合防除で、汚染率の低い種子を生産するよ

う呼び掛けています。

「麦類で増加する黒節病などの種子伝染性病害を防ぐ総合管理技術の開発」として、茨城県や埼玉県、三重県、香川県、山口県の研究機関と進めてきました。成果は、農研機構・中央農業研究センターでパンフレットにまとめました。

数字でみえる 三重県の農と食

53%

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

基盤整備済み農地の 担い手への集積率

三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画平成27年度実施状況報告によると、県内での基盤整備済み農地の担い手への集積率は、平成27年度で53%です。集積率は、同計画の策定された平成23年度の33%から、年々増加しています。県は、生産基盤の整備と一体的に、担い手への農地集積を進めるとしています。



ピックアップ pick up

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介します。

マルドリ方式で生産する温州ミカン 水分チェック機器活用で糖度上昇

周 年マルチ点滴かん水同時
施肥法(マルドリ方式)で
生産する温州ミカンについて

三重県農業研究所は、水分
チェック機器を活用した水分
管理によって、露地と比べて糖
度が1%向上することを確
認しました。高品質と安定生
産に向けた栽培技術への期待
が高まっています。

水分管理に当たっては、3
つの機器を使います。①。ま
ず「簡易土壌水分計」で土壌
の乾きを確認します。水分計
の水位が連続して下がるよう

になると、木にも水分ストレス
がかかる乾き具合のため、「水
分チェックボール」で木の水分
状態を調べます。青いチェック
ボールより実際のミカンが明ら
かに柔らかければ、かん水が必
要です。かん水量の過不足は
「水分ストレス表示シート」の反
応時間の変化で判断します。
同研究所は、簡易土壌水分
計は1本約1万円、水分チェッ
クボールは1個約4000円、
水分ストレス表示シートは1
枚約1500円で購入できると
しています。

JA松阪

カボチャ圃場巡回 生産者ら20人が参加

JA松阪はこのほど、松阪市西部地区でカボチャ生産者の圃場(ほじょう)15カ所を巡回した。初期生育の確認が目的で、生産者ら20人が参加した。松阪地域農業改良普及センターの世古裕輝技師が講師として同行。世古技師は今後の管理について「適切な位置に着果を行うよう注意が大事。また、人工授粉をしっかりと行い、着果率を上げてほしい」と呼び掛けた。JA管内では56戸が3%で「えびす」を作る。7月中旬～8月中旬まで、名古屋市場を中心に50トンの出荷を目指す。

(2017/5/10 ワイド2東海)

JA伊勢

セミノール出荷 樹上完熟で甘み引き出す

南伊勢町のJA伊勢マルゴ選果場で5月上旬、かんきつセミノールの出荷が始まった。JAマルゴ柑橘(かんきつ)部セミノールグループは、町内の16人が約60アールで生産。他産地は完熟前に収穫するのが一般的だが、マルゴ柑橘部は10月から年明けに袋掛けし、樹上完熟。花が咲き始める4月末～5月上旬に収穫する。二次肥大で果皮はでこぼこし退色して黄色くなるが、本来の濃厚な甘味を引き出せる。JAの担当者は「食味を重視した販売を行い、生産者の所得向上につなげて産地を維持したい」と話す。

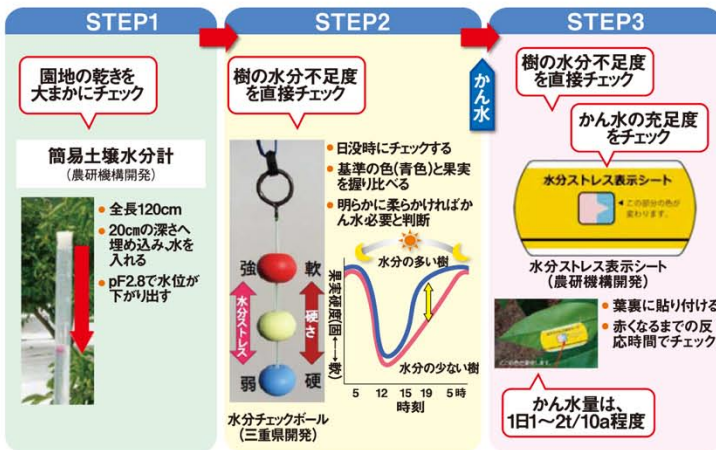
(2017/5/11 ワイド2東海)

JA鳥羽志摩

三重オクラの出荷スタート 10月中旬まで

JA鳥羽志摩管内で5月上旬から、県内でトップを切って施設栽培物の「三重オクラ」の出荷が始まった。品種は「アーリーファイブ」。2017年度は露地物も含め、10月中旬まで約10万袋(1袋約100g)が出荷される見込み。同JA管内は県内の栽培面積の約3割を占める、17年度は27人が栽培し、栽培面積51.3アールのうち、4人の生産者が施設で12アールを栽培する。星形のような断面にちなみ、JAは今年も「七夕にオクラを食べよう」PRキャンペーンを展開する予定だ。

(2017/5/16 ワイド2東海)



お問い合わせ先 三重県農業研究所 紀南果樹研究室 ☎05979-2-0008

短期の運転資金が
必要になった方に



認定農業者向けの
低利・便利な
短期運転資金です。

- 家畜等の購入資金
- 種苗代・肥料代・雇用労賃などに
- 農舎・畜舎の補修 農業機械の修繕費

スーパーS資金

農業経営改善促進資金

今ならJAバンク利子補給制度により
最大年1%の利子補給が受けられます。

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/> 平成29年5月現在



《金利情報》平成29年5月24日現在

農業近代化資金

実質金利
年0%~0.30%
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入ができます。

スーパーS資金

年1.5%
(変動金利)